

一、壹貫文 八月朔日御神事新、本郷・阿曾良・鹿並
 三郷ヨリ參

一、三百卅二文 同九日御神事新、本郷・阿曾良・鹿並ヨ
 リ參

一、壹貫文 十月朔日御神事新、本郷の鱒網ヨリ參、
 鱒モ壹尺參

一、壹貫文 十一月朔日御神事新、波並之鱒網ヨリ
 參、鱒モ壹尺參

一、壹貫文 十二月朔日御神事新、本郷・阿曾良・鹿
 並ヨリ參

一、貳百五十文 毎月巳の夜籠年中十二ヶ月の分、本郷
 ヨリ參

以上貳拾四貫五百四十六文

年中御神事新

社納口之分

九貫百八拾壹文 本郷ヨリ參

五貫五百參拾壹文 阿曾良ヨリ參

五貫五百參拾壹文 鹿並ヨリ參

五百文 古君ヨリ參

壹貫五百文 波並ヨリ參

壹貫文 藤並ヨリ參

壹貫三百文 宇出津ヨリ參

以上此分納申。

文應二年七月 日

(この文書は鳳至郡諸橋稻荷社の神役注文なりといへり。然れどもその内容當時のものとしては詳密に過ぎたり。恐らくはその文應二年七月とするは前出文應二年六月の年紀より採りたるにて、同社藏天文元年七月の文書と共に後代のものなるが如し。)

弘長二年 壬戌 紀元一九三二

九月四日。天台座主尊助法親王、石川郡白山宮別當宗鎮をして、中宮別院長寛寺領主尊賀の訴に依り尊光の狼藉を停めしむ。

【稱名寺文書】 武藏

八八

白山中宮別院長寛寺領主尊賀法橋以下衆徒申狀□□□□
 □□住和合之思□□而尊光或稱在令旨致過分
 之非法、或任雅意致追捕狼藉云々。事實者寺中荒廢之
 基、僧□□□之源也。不可不誠。自今以後停止□□罪
 科□□□、能々尋□可被注進交名於無其誤衆徒者還
 住寺中、相繼佛神事可致御祈禱也。以此等趣可被計
 沙汰給之由、所被仰下也。仍執達如件。

(弘長二年)
 九月四日 權大僧都澄賀奉

別當僧都御房

【稱名寺文書】

八九

白山中宮別院長寛寺領主尊賀法橋以下隆明寺衆徒等、并
 豪明・承安・義海・尊慶・覺・俊賀・覺滿等申。爲尊光稱
 勝舜方、號在令旨奪取所職、追捕所進書以下資財等、
 令追出住寺由事、座主宮令旨并衆徒等申狀如此。其上
 尊光違背去年三月令旨并寺牒之旨、任雅意及追捕狼藉

之條、不可不誠。早如元令還住本寺、還補寺職、且被
 糺返追捕物等、可令勤行恒例佛神事之由、可令下知
 給也。仍執達如件。恐々謹言。

弘長二年九月五日 宗 鎮 奉

謹上 白山權別當御房

【稱名寺文書】

九〇

白山中宮別院長寛寺領主尊賀法橋以下隆明寺衆徒等、并
 豪明・承安・義海・尊慶・頼覺・俊賀・覺滿等申。爲尊光稱
 勝舜方、號在令旨并別當房御下知之狀、奪取所職、追捕
 所進重書以下資財雜具等、令追出寺内之由事、座主宮令
 旨并別當房御下知如此。其上尊光違背去年三月令旨并
 之旨、任雅意及追捕狼藉之條、甚以不調也。早任被仰
 下之旨、糺返追捕物、衆徒等安堵本寺本職等、可被繼
 恒例佛神事之條如件。

弘長二年九月 日
 權別當在判